

<別紙> 情報提供様式

事例名	
教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例	
学校名	
県立八幡工業高等学校	連絡先 0748-37-7227
取組分野(複数選択可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例	
直面していた課題(取組前の様子)	
<p>・少子化の影響で学級数減となり教員数が減少したが、「ものづくり」の魅力発信やキャリア教育の充実に向けた取り組み等を新たに進めることにより、関係各所との連携業務など教員の負担が増える。工業教育のさらなる発展を目指しているが教員の献身的な努力に支えられている部分大きい。</p>	
在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	参考となる写真や資料を添付
<p>・教員業務支援員の業務は、校内の消毒作業であったが、今年度より、予約簿を作成し印刷業務や袋詰めなど簡易作業をお手伝いいただくようにした。</p> <p>・また、工業高校であり施設も多く、教員業務支援員の日々の最終業務として、施錠等の確認を行っていただいている。</p>	
取組の成果	
<p>・分掌業務において、積極的な教員業務支援員の活用が見られた。</p> <p><u>成果のポイント</u></p> <p>・作業時間の短縮につながり、作業効率も上がった。</p> <p>・教員業務支援員の方と教員とのコミュニケーションが増え、教員業務支援員の方のやりがいにも繋がった。</p> <p>・日々の施錠等の確認は、1時間程度を要するため、教員の業務削減となっている。</p>	